

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道4号 <small>かながせ</small> 金ヶ瀬拡幅	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 東北地方整備局
起終点 自： <small>みやぎ かつた ざおう まちみや</small> 宮城県刈田郡蔵王町宮 至： <small>みやぎ しばた おおがわら まち かながせ</small> 宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬	延長 3.7 km	
事業概要 一般国道4号は、東京都中央区から青森市までの福島市、仙台市、盛岡市等の東北地方の主要都市を結ぶ、延長約874kmの主要幹線道路である。 金ヶ瀬拡幅は、仙台都市圏と二次生活圏中心都市である白石市間の唯一2車線のボトルネック区間の交通混雑の緩和、交通事故の減少等を目的とした延長3.7kmの4車線拡幅事業である。		
H16年度事業化		H6年度都市計画決定
H17年度用地着手		H21年度工事着手
全体事業費	84億円	事業進捗率
計画交通量	23,700台/日	供用済延長
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 2.2	総費用 (残事業)/事業全体 55億円/84億円 事業費：44億円/73億円 維持管理費：11億円/11億円
		総便益 (残事業)/事業全体 122億円/122億円 走行時間短縮便益：118億円/118億円 走行経費減少便益：1.1億円/1.1億円 交通事故減少便益：2.7億円/2.7億円
		基準年 平成22年
感度分析の結果 【残事業】 感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.6(交通量 +10%) B/C=1.8(交通量 -10%) 事業費変動：B/C=2.0(事業費 +10%) B/C=2.4(事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=2.0(事業期間 +20%) B/C=2.4(事業期間 -20%)		
事業の効果等 ①交通混雑の緩和 ・事業区間ではピーク時において旅行速度が著しく低下している。 ・当該道路の整備により、交通容量が拡大し交通混雑の緩和が図られる。 ②混雑緩和による交通事故の減少 ・事業区間では死傷事故率が200件/億台キロを超える箇所がみられ、渋滞に起因する追突事故が約9割を占めている。 ・当該道路の整備により、交通混雑が緩和し、交通事故の減少が期待される。 ③東北縦貫道通行止め時の安定的な交通確保 ・東北縦貫自動車道において雪や交通事故等による通行止めが発生すると、国道4号へ交通転換されるため、速度低下が生じている。 ・当該道路の整備により、災害時における代替路線として安定的な交通確保が期待される。		
関係する地方公共団体等の意見 金ヶ瀬拡幅は、仙台市～白石市間の唯一2車線のボトルネック区間の交通混雑の緩和、交通事故の減少等、早期整備の必要性が高く、宮城県より早期整備の要望を受けている他、多くの首長から同様の要望を受けている。 県知事の見解：事業の継続実施に異議はありません。		
事業評価監視委員会の意見 対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率32%、うち用地進捗率54%		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 事業進捗に係る問題はない。		
施設の構造や工法の変更等 ・再生資材（再生砕石、アスファルト合材等）を活用し、コスト削減を図る。 ・歩車道境界ブロックに経済的な長尺製品を使用し、コスト削減を図る。		
対応方針		事業継続
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

